



JR米坂線羽前橋駅。駅舎に町の観光協会が入り情報収集に便利



「恋人の聖地」のモニュメント。チェーンには錠やハートが

■飯豊町観光協会  
西置賜郡飯豊町大字椿1974-2  
TEL.0238-86-2411

## どぶろく特区の「白川温泉 白川荘」

残念ながら今は見られないが、水没林となるスポットに間近な、白川温泉白川荘に宿を取った。「希少な野鳥、ノジコ、も生息する、ここは自然の宝庫です。たっぷり満喫してください」と、伊藤浩一郎常務。豊かな自然と触れ合うだけでなく、「どぶろく特区」ならではの妙味をはじめ、山里の味覚も垂涎。「10月には、スタッフ総出で採り集めた、松茸づくし」をお楽しみいただきます。想像するだけで心が弾む。

果たして、温泉も食事も大満足。夕食では予想外で並んだ手打ち蕎



店の向かい、白川にかかる橋でひと息つく、高峰そば工場の井上さんと佐藤さん

麦も堪能。町内産でわかおり種の二八蕎麦だという。「ただし、定番ではないのでご了承を」とのこと。運が良ければ、と期待しよう。

白川荘は日帰り温泉客も受け入れており、レストランのどぶろくソフトも人気。どぶろくを使ったまんじゅう、山菜加工品などが並ぶお土産コーナーも見えた。

翌朝散歩に出ると、入館時には気づかなかったが、敷地の一角に



大きな牛のモニュメントが…。水没林の時期、白川湖に愛龍神が泳ぐとされ、NPO法人の全国プロジェクトから、恋人の聖地への認定を受けた。牛はそのシンボルなのでカップルは要チェック！

湖畔まで行くと、水量は少なく、緑の壮大さに圧倒される。隣接するパークゴルフ場では、何組かがのんびりとラウンドしていた。

- 1 町内のそば畑。転作田で始めたが年々品質が向上して評判
- 2 パークゴルフ場。白川荘が受付で温泉客には特典も
- 3 白川荘の夕食。自家製どぶろくは飲みやすく美味しい
- 4 浴場からは遠くに飯豊連峰、眼下に白川湖畔の大自然が広がる
- 5 帰途に就く客に手を振る伊藤さん(左端)とスタッフ
- 6 春の雪解け期だけ現れる水没林/飯豊町観光協会提供
- 7 どぶろくが香るクリーミーな「どぶろくソフト(350円)」は白川荘限定の味わい
- 8 取材時8月の白川湖の様子

■白川温泉 白川荘  
西置賜郡飯豊町大字数馬2181  
TEL.0238-77-2124  
1泊2食/8,500円～ ※休前日は1,000円増  
日帰り入浴:大人400円  
※予約によりJR手ノ子駅まで送迎可

